

## 令和7年度事業計画（案）

令和7年度の政府の経済財政運営の基本的態度は、長きにわたったコストカット型経済から脱却し、デフレに後戻りせずに「賃上げと投資が牽引する成長型経済」に移行できるかどうかの分岐点にあるとしている。実質賃金を見ると前年比マイナス0.2%と3年連続での減少となっており、ますます趣味や娯楽への消費が少なくなる懸念がある。

遊技業界は、昨年より「遊びの力で心を元気に」という産業のパーパスを構築して、社会的意義の理解や認識を共有する活動を行っているほか、依存対策に係る各種取り組みの適切な実施を進めている。ホール関連団体では広告宣伝をはじめとした各種ガイドラインによる営業の健全化に向け、断続的な協議を行っている。

当協議会は、これまで「業界を取り巻く環境の整備」と「現行風営適正化法の問題点の調査研究」を二本柱として活動している。遊技業界が長らく低迷していることもあり、今年度も会是有る理念の実現に向けて積極的に活動し、提言を行っていくものとする。

そのうえで、ホール・メーカー等の垣根を超えて組織される当会の強みを活かし、我が国固有の娯楽である遊技産業のために業界の総意結束を図り、諸課題に挑んでいく。

具体的には業法第19次試案及び下位法令に関する要望を作成し、風営適正化法から業法に移行する際に起こると予想される課題への対策を立案する。その後、会内において業法提案への本格検討を行う。会内合意を経た後、業界への業法案の提案や他団体との協議を行う体制を構築するなど、業法の実現可能性を諮り、速やかに社会に起案するための活動を行っていく。

また、遊技産業のパーパスの浸透だけでなく、社会的意義の理解や認識を共有していく。その他、創立以来取り組んでいる健全営業の推進及び社会貢献活動に引き続き尽力していく。

今年度の会合においても会場とオンラインのハイブリッド開催とし、より多くの会員が参画しやすいシステム構築や、会員限定のサイトの更新、又は会員プレゼンテーション等を通し、更なる情報の発信や共有を図っていく。

会 是

『業界の環境を整備し業法の制定を図る』

今年度の重点目標

『業法の本格的な検討を行い、他団体に提示し協議する体制を構築する』

具体的な行動目標

1. 業法制定に向けて内外の啓発活動を行う
2. 遊技環境の在り方を研究調査する
3. 地域社会と共生する遊技場の在り方を研究調査する
4. 会是に賛同する会員の増員に努め、組織基盤の強化充実を図る

行動内容

1. 理事会は8月を除く年11回開催する
2. 定例部会を8月と12月を除く年10回開催する
3. 11月に秋季セミナーを開催する
4. 特別部会を開催し、現行法運用上の諸問題を研究調査する
5. 多様性のある遊技環境の構築に向けた活動を実施する
6. 行政及び関係団体等との情報交換や交流を推進する
7. 「業法第19次試案及び下位法令の要望に関する資料」の成案化を進める
8. 「風営適正化法令におけるパチンコ営業運用上のQ&A」を改定する
9. 「全国パチンコ店舗避難所ガイド」の店舗登録の拡大に努める
10. 会員HPの利活用を推進し、更なる会員への情報共有・公開を図る

以 上